

コード	50105
作成年度	26年度

基本事業評価表

基本事業名称	教職員の資質の向上
---------------	------------------

総合計画の位置付け	
政策名称	しまの誇り・文化の育成
施策名称	学校教育の充実

課コード	124	関係課名
主管課名	学校教育課	

基本事業の目的

各主任等の研修会の実施及び研究指定校による研究を推進し、教職員の使命感や指導力の向上を図ることを目的とする。

基本事業の成果

成果指標名称 1	研究会参加者	成果指標名称 2	教育研究部会回数
成果指標の積算根拠	研究会参加者数÷対象者数	成果指標の積算根拠	研究部会実施数÷研究部会計画数
目標達成年度	平成26年度	目標達成年度	平成26年度
目標達成数値	全教職員215人	目標達成数値	毎年50回

年		度		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
成果 指標 1	目標 A	単 位	人	253	237	230	227	215
	実績 B		人	253	237	228	226	-
	達成率 B/A		%	100.0	100.0	99.1	99.6	
成果 指標 2	目標 A	単 位	回	60	60	60	60	50
	実績 B		回	60	58	50	46	-
	達成率 B/A		%	100.0	96.6	83.3	76.7	

1次評価	現状	教育の振興及び教職員の資質の向上を図るため、教科及び領域の専門部会を創設して研究会を開催し、さらに教職員研修会を開催している。
	課題	研修内容の充実を図るため、提案型・発信型を重視して取り組んでいるが、一層の工夫が必要である。また、極小規模化による職員数の減少が進んでいるため、学校業務と研究会及び研修会の数的バランスや参加の仕方を検討する必要がある。
	改善	各研究会において、より現実的研究を行うため、現在のレポート提出型から提案型・協議型への研究形態を工夫する必要がある。また、各学校からの参加義務について、柔軟な対応と研修の還元を考慮し、各研修会の開催回数の見直しの検討が必要である。

2次評価	教育環境・社会環境の変化が進む中、地域に根ざした特色ある学校教育を推進する必要がある。専門的知識、広く豊かな教養を身に付けるため、計画的、継続的に研究を行い、実践に生かし、指導力の向上を図っていくこと。
-------------	---

3次評価 住民等の意見	
------------------------	--

町の対応	
-------------	--

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成25年度 直接事業費	評価の方向性
1	501050101	町教育研究会補助事業	学校教育課	230千円	(途中) このまま事業を継続
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				230千円	